

やまなし「ゼロカーボンシティ」宣言  
～2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向けて～

近年、地球温暖化に起因するといわれる気候変動の影響により、世界的に深刻な自然災害が発生しており、国内においても、これまでに経験したことのない猛暑や豪雨災害などによる甚大な被害が発生しています。

2015年に合意されたパリ協定では「産業革命前からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。2018年に公表された気候変動に関する政府間パネル（IPCC）報告書では、1.5℃に抑えるためには、2050年までにCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロとすることが必要だと科学的に示されました。

こうした目標の達成に向け、2009年に山梨県は全国に先駆けて、2050年までのCO<sub>2</sub>排出量の実質ゼロを表明し、その後、2019年に環境大臣が全国の自治体に「ゼロカーボンシティ」の呼びかけを行ったことを機に、この動きが広がりを見せ、2020年には政府が「2050年までの温室効果ガス排出実質ゼロ」を宣言しました。

本県は日照時間が長く、多くの森林資源やそこから生まれる水資源など豊かな自然が存在します。私たちは、これまでも、将来にわたり豊かな自然と人とが共生・調和できるよう、それぞれが気候変動対策に取り組んできましたが、ここに2050年までの温室効果ガス排出の実質ゼロを共同で宣言し、各自治体の特性を生かしながら、全県一丸となって今後さらに取り組みを推進します。

2021年2月15日

やまなし「ゼロカーボンシティ」共同宣言自治体代表

山梨県知事 長崎 幸太郎

山梨県市長会 会長 甲府市長 樋口 雄一

山梨県町村会 会長 南部町長 佐野 和広

2050年温室効果ガス（二酸化炭素）排出量実質ゼロ共同表明自治体

山梨県 知事 長崎 幸太郎 (2009年3月 表明済み)

(山梨県市長会)

甲府市	市長	樋口 雄一	
富士吉田市	市長	堀内 茂	
都留市	市長	堀内 富久	
山梨市	市長	高木 晴雄	
大月市	市長	小林 信保	
韮崎市	市長	内藤 久夫	
南アルプス市	市長	金丸 一元	(2020年7月 表明済み)
北杜市	市長	上村 英司	(2020年12月 表明済み)
甲斐市	市長	保坂 武	(2020年7月 表明済み)
笛吹市	市長	山下 政樹	(2020年7月 表明済み)
上野原市	市長	江口 英雄	(2020年7月 表明済み)
甲州市	市長	鈴木 幹夫	
中央市	市長	田中 久雄	(2020年7月 表明済み)

(山梨県町村会)

市川三郷町	町長	久保 眞一	(2020年7月 表明済み)
早川町	町長	辻 一幸	
身延町	町長	望月 幹也	
南部町	町長	佐野 和広	
富士川町	町長	志村 学	(2020年7月 表明済み)
昭和町	町長	塩澤 浩	(2020年7月 表明済み)
道志村	村長	長田 富也	
西桂町	町長	山崎 泰洋	
忍野村	村長	天野 多喜雄	
山中湖村	村長	高村 正一郎	
鳴沢村	村長	小林 優	
富士河口湖町	町長	渡辺 喜久男	
小菅村	村長	舩木 直美	
丹波山村	村長	岡部 岳志	